

【参考】

# 弥富市第4次行政改革 実施計画及び取組状況

令和5年8月

弥 富 市

# 目 次

1	実施計画の目的と位置付け	1
2	実施計画の体系	1
3	実施計画期間	2
4	実施計画取組方針	2
5	実施計画	

## 【基本方針1】市民サービスを提供し続ける持続可能な財政基盤の強化

### （重点推進項目①）歳入確保と歳出抑制の推進

【推進項目番号 1】	公有財産の有効活用	3
【推進項目番号 2】	有料広告収入の確保	3
【推進項目番号 3】	企業誘致等の促進	5
【推進項目番号 4】	補助金の見直し	5
【推進項目番号 5】	委託業務等の見直し	5
【推進項目番号 6】	入札制度の見直し	6
【推進項目番号 7】	パソコン等のリース期間の延長	6
【推進項目番号 8】	公用車の車種の見直し	7
【推進項目番号 9】	物品調達効率化	7
【推進項目番号 10】	時間外勤務の縮減	8
【推進項目番号 11】	節電対策	8
【推進項目番号 12】	未収金対策の充実・促進	9
【推進項目番号 13】	使用料・手数料の見直し	9
【推進項目番号 14】	多様な財源確保策の実施	10

### （重点推進項目②）公共施設・インフラの最適化

【推進項目番号 15】	公共施設等の最適化と適正な管理	10
-------------	-----------------	----

### （重点推進項目③）限られた財源の効率的・効果的な活用の推進

【推進項目番号 16】	行政評価制度の活用	12
【推進項目番号 17】	財政健全化方策の検討	12
【推進項目番号 18】	財務4表の活用	13
【推進項目番号 19】	工事成績評定制度の推進	13

### （重点推進項目④）特別会計などの経営健全化の推進

【推進項目番号 20】	公営企業会計の導入	13
-------------	-----------	----

### （重点推進項目⑤）民間活力の効果的な活用

【推進項目番号 21】	民間委託等の推進	14
-------------	----------	----

【推進項目番号 22】 指定管理者制度の活用	14
------------------------	----

## 【基本方針 2】 市民の期待に応える市役所の能力、機能の強化

### （重点推進項目⑥） 職員の育成と職員力の向上

【推進項目番号 23】 職員の人材育成	16
---------------------	----

### （重点推進項目⑦） 職員定員の適正化と組織の効率化

【推進項目番号 24】 定員管理の適正化	17
----------------------	----

【推進項目番号 25】 組織・機構の改革	17
----------------------	----

【推進項目番号 26】 グループ制の活用による機動性の確保	17
-------------------------------	----

【推進項目番号 27】 流動体制制度の活用	18
-----------------------	----

【推進項目番号 28】 業務効率化、働き方改革	18
-------------------------	----

### （重点推進項目⑧） 職員の意識改革と人事評価システムの推進

【推進項目番号 29】 職員提案制度・業務改善運動の実施	18
------------------------------	----

【推進項目番号 30】 人事評価システムの活用	19
-------------------------	----

## 【基本方針 3】 市民と問題を共有し、課題を解決する協働の強化

### （重点推進項目⑨） 市民と行政の協働による地域経営の推進

【推進項目番号 31】 学区コミュニティ推進協議会組織の見直し	20
---------------------------------	----

【推進項目番号 32】 市民活動支援対策の推進	20
-------------------------	----

【推進項目番号 33】 各種審議会等への市民公募委員の登用推進	21
---------------------------------	----

【推進項目番号 34】 男女共同参画の推進	21
-----------------------	----

【推進項目番号 35】 ワークショップの推進	22
------------------------	----

### （重点推進項目⑩） 市民への情報共有と市民ニーズの把握

【推進項目番号 36】 各種広報媒体を活用した市政情報の発信	22
--------------------------------	----

【推進項目番号 37】 審議会等会議の公表	23
-----------------------	----

【推進項目番号 38】 出前講座の充実	24
---------------------	----

【推進項目番号 39】 市民満足度の把握	24
----------------------	----

### （重点推進項目⑪） 市民の視点に立ったサービスの向上

【推進項目番号 40】 電子申請サービスの推進	25
-------------------------	----

【推進項目番号 41】 市民の視点に立った窓口サービスの向上・充実	25
-----------------------------------	----

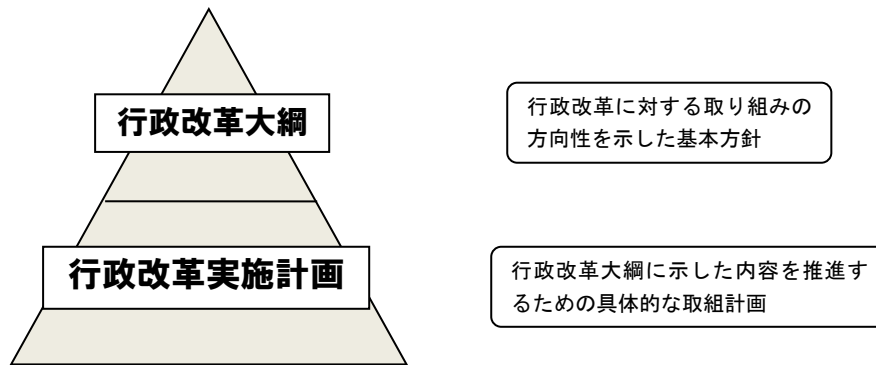
6 実施計画の取組みによる経費節減等の財政効果	26
-------------------------	----

# 1 実施計画の目的と位置付け

本市では、第2次弥富市総合計画に掲げている将来像『地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富』の実現ために定められた政策目標・施策項目を達成するために、弥富市行政改革大綱（平成30(2018)年度～令和5(2023)年度）に基づき、持続可能な行政運営を行います。

この行政改革実施計画は、弥富市行政改革大綱に示した内容を着実かつ集中的に推進するための具体的な取り組みを示した計画です。

## 【実施計画の位置付け】



# 2 実施計画の体系

3つの基本方針、11の重点推進項目ごとに定めた41の推進項目に従い、各取組項目の推進に努めます。

## 【基本方針1】

### ① 市民サービスを提供し続ける持続可能な財政基盤の強化

#### 《重点推進項目》

1. 歳入の確保と歳出抑制の推進
2. 公共施設・インフラの最適化
3. 限られた財源の効率的・効果的な活用の推進
4. 特別会計などの経営健全化の推進
5. 民間活力の効果的な活用

22の推進項目

## 【基本方針 2】

### ② 市民の期待に応える市役所の能力、機能の強化

#### 《重点推進項目》

6. 職員の育成と職員力の向上

7. 職員定員の適正化と組織の効率化

8. 職員の意識改革と人事評価システムの推進

8の推進項目

## 【基本方針 3】

### ③ 市民と問題を共有し、課題を解決する協働の強化

#### 《重点推進項目》

9. 市民と行政の協働による地域経営の推進

10. 市民への情報共有と市民ニーズの把握

11. 市民の視点に立ったサービスの向上

11の推進項目

## 3 計画期間

本計画の計画期間は、平成 30(2018)年度から令和 5(2023)年度までの 6 年間とします。ただし、毎年度の行政評価や予算編成などと連携し、計画の見直しを行う場合があります。また、新たな取組の追加や進捗状況に合わせた計画の見直しなどを必要に応じて行い、その時々状況に応じた最適な手法により行政改革を推進します。

## 4 実施計画取組方針

実施計画は、各取組項目の内容、数値目標、そして計画時期などを明らかにして、第 4 次行政改革の計画的な推進に資するものです。

それぞれの取組項目は、可能な限り早期に達成されることが望ましいことから、各取組項目の実施に当たっては、各担当課においてさらに詳細な実施プログラムを策定し、可能な限り前倒しで推進します。

## 5 実施計画

### 【基本方針1】市民サービスを提供し続ける持続可能な財政基盤の強化

#### 重点推進項目 ① 歳入確保と歳出抑制の推進

推進項目番号	1	推進項目	公有財産の有効活用						
推進項目の内容									
公有財産の有効活用を推進するとともに、市が所有している未利用地やその目的が達成された施設について、実態を把握し、売却や貸付を行う。									
効果	自主財源の確保、財産管理経費の節減								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
十四山支所の利用していない箇所を、海部南部消防組合に海部地方通信指令センターとして、海部南部広域事務組合、海部南部権利擁護センターに事務所として貸付を行う。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	目標値(額)		4,422千円	4,422千円	4,422千円	4,549千円	4,549千円	4,549千円	
	効果値(額)		4,257千円	4,093千円	4,257千円	4,549千円	4,376千円		
取組結果及び分析	R4年度は十四山支所の1階を引き続き貸し付けたが、2階・3階の利用していない箇所は貸付も含めた活用を検討していく。								
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
市が所有している未利用地を太陽光発電施設用地、駐車場等として貸付を行う。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	目標値(額)		2,230千円	2,230千円	2,230千円	2,230千円	2,230千円	2,230千円	
	効果値(額)		2,230千円	2,671千円	4,241千円	11,045千円	5,765千円		
取組結果及び分析	R4年度は、太陽光発電施設用地の他に駐車場等の貸付が8件あった。工事用の利用は工事期間で満了するため、その後の跡地の利用について情報収集が必要である。								
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
市が所有している未利用地の実態を把握し、売却を行う。	実績	検討	実施	検討	実施	実施	実施		
	目標値(額)		—	—	—	—	—	—	
	効果値(額)		—	0円	—	0円	0円		
取組結果及び分析	R4年度は一般競争入札は行わなかった。未利用地の実態を把握分析し、入札に参加しやすい条件について他課と連携して研究する必要がある。								

推進項目番号	2	推進項目	有料広告収入の確保						
推進項目の内容									
市の保有する資産を広告媒体として活用させることにより、新たな財源の確保を図る。									
効果	自主財源の確保								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
市ホームページにバナー広告枠を設ける。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	目標値(額)		600千円	600千円	600千円	600千円	650千円	650千円	
	効果値(額)		510千円	260千円	220千円	395千円	505千円		
取組結果及び分析	掲載呼びかけを行い、前年度を上回る掲載数を達成できた。								

取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	<del>計画</del>	検討	実施	⇒	⇒	⇒
市広報誌に有料広告枠を設ける。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	検討	実施	実施	実施	
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	—	768千円	768千円	768千円	768千円
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	—	565千円	849千円	952千円	
取組結果及び分析	年度当初から掲載枠を埋めることができ、前年度を上回る掲載数を達成できた。							
課名	総務課	計画	<del>計画</del>	実施	⇒	<del>⇒</del>	<del>⇒</del>	<del>⇒</del>
広告取扱業者により、庁舎内の壁面に有料広告を掲出させる。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	実施	<del>実施</del>	<del>実施</del>	<del>実施</del>	<del>実施</del>
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	146千円	146千円	<del>146千円</del>	<del>146千円</del>	<del>146千円</del>
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	146千円	146千円	<del>146千円</del>	<del>146千円</del>	<del>146千円</del>
取組結果及び分析	新庁舎完成に伴い、壁面の有料広告から広告付庁舎案内板に変更した。							
課名	財政課	計画	<del>計画</del>	<del>計画</del>	実施	⇒	⇒	⇒
広告取扱業者により、広告付庁舎案内板を設置させる（案内板内容：広告、庁舎案内図、市役所周辺図、コミュニティバス路線図、AED）。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	実施	実施	実施	
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	129千円	141千円	141千円	141千円
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	125千円	141千円	141千円	
取組結果及び分析	広告付き庁舎案内板を引き続き本庁舎1階エントランスに設置した。今後も案内板の設置を継続していく予定である。							
課名	介護高齢課	計画	<del>計画</del>	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
高齢者等福祉タクシー利用券に有料広告の枠を設ける。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	—	実施	実施	実施	実施
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	20千円	20千円	20千円	20千円	40千円
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	—	0円	20千円	40千円	40千円
取組結果及び分析	市内の介護事業者に向けて有料広告掲載について説明し、2事業者から応募があった。R5年度以降も利用券への広告掲載の周知を行っていく。							
課名	福祉課	計画	<del>計画</del>	<del>計画</del>	<del>計画</del>	実施	⇒	⇒
心身障がい者福祉タクシー利用券に有料広告の枠を設ける。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	実施	実施	
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	20千円	20千円	20千円
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	0円	0円	
取組結果及び分析	市のホームページで募集を行ったが、応募はなかった。今後、広報への掲載を検討していく。							
課名	市民協働課	計画	<del>計画</del>	<del>計画</del>	<del>計画</del>	実施	—	実施
市回覧板に有料広告枠を設ける。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	実施	—	
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	350千円	—	350千円
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	350千円	—	
取組結果及び分析	市回覧板に有料広告を設けることによって、地域経済の活性化及び市の経費削減に努めた（現在は2年ごとに作成）。							
課名	環境課	計画	<del>計画</del>	<del>計画</del>	<del>計画</del>	<del>計画</del>	検討	実施
弥富市一般家庭ごみ収集日程表に有料広告枠を設ける。	実績	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	<del>実績</del>	検討	
	目標値(額)	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	<del>目標値(額)</del>	—	144千円
	効果値(額)	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	<del>効果値(額)</del>	—	
取組結果及び分析	R5年度よりR6年度分日程表に対する募集を開始した。							

推進項目番号	3	推進項目	企業誘致等の促進					
推進項目の内容								
企業誘致や企業訪問等を積極的に行い、自主財源の確保に努める。								
効果	自主財源の確保							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	産業振興課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
県産業立地通商課と企業訪問を行い、企業誘致・設備投資等の優遇施策の案内をする。既存企業には市内における継続的な事業運営を促し、自主財源の確保に努める。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	1から2事業所を訪問	1から2事業所を訪問	1から2事業所を訪問	1から2事業所を訪問	1から2事業所を訪問	1から2事業所を訪問	1から2事業所を訪問
	効果値(額)	1事業所	1事業所	2事業所	3事業所	1事業所		
取組結果及び分析	新型コロナウイルス感染症に対応するため、事業所の実地訪問に変えて市独自の電話訪問を実施した。電話訪問を受けた事業者はコロナ禍においても事業を継続しており、今後も市内で引き続き事業を行っていくとの回答を得た。							

推進項目番号	4	推進項目	補助金の見直し					
推進項目の内容								
終期の設定、廃止、統合、削減等による整理統合を進める。								
効果	補助金の適正化、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
終期の設定、廃止、統合、削減等による整理統合を進める。	実績	—	—	検討	検討	検討		
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	事業規模及び終期の設定等の見直しを課題とし、担当課とのヒアリングを行っていく。							

推進項目番号	5	推進項目	委託業務等の見直し					
推進項目の内容								
各種委託業務の内容、回数などを検証し、可能な範囲での縮減を図る。								
効果	経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	介護高齢課	計画	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
福祉電話（緊急通報システム）契約台数・保守台数を見直す。	実績	—	検討	実施	実施	実施		
	目標値(額)	—	—	508千円	791千円	791千円	698千円	
	効果値(額)	—	—	475千円	741千円	720千円		
取組結果及び分析	R元年度の福祉電話（緊急通報システム）の契約・保守台数100台から30台に見直し、R4年10月1日からR9年9月30日までの長期継続契約を行った。また、市民ニーズに合わせて、R2年度より安否確認、見守りサービス、緊急時のかけつけが可能となる新たな緊急通報システム機種を導入・運用を行っている。							



取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	総務課	計画			検討	実施	⇒	⇒
例規集（紙媒体）90冊を30冊に削減する		実績			検討	実施	実施	
		目標値(額)			—	324千円	324千円	324千円
		効果値(額)			—	324千円	324千円	
取組結果及び分析	デジタル化の推進に伴い、オンラインでの例規参照を推奨することにより、紙媒体の例規集の加除を必要最小限（33冊）に削減した。							

推進項目番号	6	推進項目	入札制度の見直し					
推進項目の内容								
入札・契約の公平性・透明性・客観性及び競争性のより一層の向上を図るため見直しを実施する。								
効果	公平性・公正性の確保、透明性の向上、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事後審査方式制限付一般競争入札を行う。		実績	実施	実施	実施	実施	実施	
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	公平性・透明性・客観性の確保及び不良・不適格業者の参加防止を担保するため、公正性を失わない限度において事後審査方式制限付一般競争入札を実施した。							

推進項目番号	7	推進項目	パソコン等のリース期間の延長					
推進項目の内容								
パソコン等のリース期間を延長し、経費の節減に努める。								
効果	経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	総務課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
パソコン、プリンタ等を再リースする。		実績	実施	実施	実施	実施	—	
		目標値(額)	800千円	3,000千円	100千円	400千円	200千円	400千円
		効果値(額)	2,200千円	1,400千円	585千円	700千円	0千円	
取組結果及び分析	必要とされる性能等を勘案した結果、新規機材の導入を行い再リースを見送った。							

推進項目番号	8	推進項目	公用車の車種の見直し					
推進項目の内容								
公用車の安全運行と運転者の安全確保を図るため、使用年数又は走行距離並びに車両状態を考慮して老朽化が進んだ車両の更新を計画的に行う。								
効果	運転者の安全確保、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年式が古い車両は、故障や消耗部品の取り替えなど維持管理費が増加するため、計画的に更新を行う。	実績	実績	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		1台	1台	1台	1台	1台	2台
	効果値(額)		1台	1台	1台	1台	2台	
取組結果及び分析	R4年度は、軽貨物自動車2台の更新を行った。年式の古い車両の割合が増えており、故障や修繕の維持管理費が増えてきている。車種の見直しを検討しながら計画的な更新を行う。							

推進項目番号	9	推進項目	物品調達の効率化					
推進項目の内容								
消耗品の購入について、年度当初に市一括で単価契約を行うことにより、事務の効率化及び購入経費の節減を図っているところであるが、対象品目の拡大を検討する。								
効果	事務事業の合理化、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	総務課	計画	実施	⇒	⇒			
前年度の消耗品の購入実績及び来年度の購入予定数量を調査し、年度当初に単価契約を行う。	実績	実績	実施	実施	実施			
	目標値(額)		1,000千円	1,000千円	1,000千円			
	効果値(額)		1,192千円	1,454千円	1,582千円			
取組結果及び分析	(R3年度より会計課に移管)							
課名	会計課	計画				実施	⇒	⇒
前年度の消耗品の購入実績及び来年度の購入予定数量を調査し、年度当初に単価契約を行う。	実績					実施	実施	
	目標値(額)					1,000千円	1,000千円	1,000千円
	効果値(額)					1,735千円	1,989千円	
取組結果及び分析	一括して単価契約を行うことにより、経費削減を図ることができた。							

推進項目番号	10	推進項目	時間外勤務の縮減					
推進項目の内容								
「ノー残業デー」の活用等により、時間外勤務の削減を図る。								
効果	職員の健康管理、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
従来より実施している「ノー残業デー・育児の日」に加え、「ワークライフバランス推進デー」等を新たに設定する。	実績	検討	検討	検討	実施	実施		
	目標値(額)	—	—	3,700千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円	
	効果値(額)	—	—	—	△1,866千円	△7,647千円		
取組結果及び分析	新型コロナウイルス感染症対策事業や市の計画・方針の見直しに係る業務等の増加が見込まれたため、新たなノー残業デーの設定は見送ったが、代替として従来のノー残業デーの周知徹底を図った。							

推進項目番号	11	推進項目	節電対策					
推進項目の内容								
冷暖房の温度設定や昼休みの消灯などにより、電気料及びCO2を削減する。また、地球温暖化対策実行計画を策定し、公共施設の照明を計画的にLED照明に切り替える。								
効果	経費の節減、CO2削減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	環境課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
冷暖房の温度設定や昼休みの消灯などにより、電気料及びCO2の削減に努める。 ※t-CO2とは温室効果ガス排出量で、二酸化炭素に換算したものの	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	—	4,130t-CO2	4,023t-CO2	3,916t-CO2	3,809t-CO2	3,920t-CO2	
	効果値(額)	—	4,044t-CO2	3,721t-CO2	3,737t-CO2	3,995t-CO2		
取組結果及び分析	目標値を達成することができなかった要因として、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から閉鎖していた施設の再開、開庁時間の延長、感染症対策の一環として換気をしながら空調を使用したことが考えられる。							
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
契約電力の見直しやデマンド装置による消費電力の監視を行い、算出基礎となる最大需用電力を抑え、電気料の削減に努める。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	本庁舎では、デマンド装置により消費電力を監視するとともに空調や照明のタイマーを季節ごとに見直しながら消費電力の削減に努めた。また、中部電力ミライズの冬季節電プログラムに参加するとともに各施設に周知し積極的に節電に取り組んだ。							
課名	環境課	計画	検討・実施					
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、CO2の削減に努める。	実績	実施						
	目標値(額)	計画策定						
	効果値(額)	計画策定済						
取組結果及び分析	H30年度に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定した。							

推進項目番号	12	推進項目	未収金対策の充実・促進					
推進項目の内容								
市税等財源の一層の確保を図るため、市民負担の公平性の観点から各種未収金について、収納対策の強化を図る。								
効果	収納率の向上							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	収納課	計画	実施	⇒				
西尾張地方税滞納整理機構に参加し、収納対策の強化に努める。(なお、当機構は個人住民税を始めとした市税の滞納整理の推進と市職員の徴収技術の向上を図る目的が概ね達成できたとし、R元年度で廃止となる。)	実績	実績	実施	実施				
	目標値(額)		43,900千円	46,740千円				
	効果値(額)		24,323千円	21,933千円				
取組結果及び分析	R元年度をもって西尾張地方税滞納整理機構は廃止となった。							
課名	収納課	計画			検討	実施	⇒	⇒
新型コロナウイルス感染症対策、キャッシュレス化の推進によりスマートフォン決済サービスを実施。利便性、納付手段の多様化による収納率の向上を図る。	実績				検討	実施	実施	
	目標値(額)				—	500件	600件	4,000件
	効果値(額)				—	3,180件	3,884件	
取組結果及び分析	R3年度4月よりPayPay、LINE Pay、PayBのスマートフォン決済サービスを実施。R4年度にはFamiPay、auPAYを追加した。コロナ禍の中、非接触で安心安全なキャッシュレス決済が普及したため、R2年度の導入検討時に、先進自治体の実績を踏まえて設定した目標値を大きく上回った。							

推進項目番号	13	推進項目	使用料・手数料の見直し					
推進項目の内容								
他市町村の状況、社会情勢、受益者負担の観点から適宜見直しを行う。								
効果	受益者負担の公平化							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	生涯学習課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
屋外運動施設使用料徴収区分の見直しを行う。	実績	実績	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		2,400千円	2,400千円	2,400千円	2,400千円	2,400千円	2,400千円
	効果値(額)		1,289千円	853千円	785千円	834千円	1,517千円	
取組結果及び分析	H30年度から見直した屋外施設使用料徴収区分見直しに基づき、引き続き使用料の徴収を実施した。							
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	使用料見直し	新使用料適用	⇒
公の施設の使用料の減免団体の減免率の見直しを行うとともに、受益者負担の観点から原則5年ごとに現行使用料の見直しを行う。	実績	実績	実施	実施	—	見直し	実施	
	目標値(額)		1,150千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円
	効果値(額)		2,400千円	1,100千円	—	—	1,800千円	
取組結果及び分析	次回の改定に向け、算定様式の見直しや施設の維持管理費等の集計を行っていく。							
課名	児童課	計画	実施	⇒	—	—	—	—
保育料の見直しを行う。	実績	実績	実施	実施	—	—	—	
	目標値(額)		29,736千円	17,184千円	11,870千円	11,870千円	11,870千円	11,870千円
	効果値(額)		25,313千円	22,090千円	22,090千円	22,090千円	22,090千円	
取組結果及び分析	保育の安定的かつ継続的な維持及び公的負担と利用者負担の適正化を図るため、H30年4月に保育料全体を改定し、R元年10月以降、3歳児以上の保育料無償化後も、3歳未満児の保育料は改定していない。市が定めた利用者負担額は、国基準額の利用者負担額に対して6割弱ほどで低いレベルとなっている。							

推進項目番号	14	推進項目	多様な財源確保策の実施					
推進項目の内容								
市が実施する事業に対し、多くの方に応援いただけるよう、ふるさと納税など多様な方法での財源確保策を検討する。								
効果	自主財源の確保							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画		検討	返礼品送付の実施	⇒	⇒	⇒
市外の方から弥富市を応援していただけるよう、ふるさと納税の寄附者に対する返礼品の送付を行うとともに、返礼品内容を充実させる。		実績		検討	実施	実施	実施	
		目標値(額)		—	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
		効果値(額)		—	3,628千円	6,208千円	8,002千円	
取組結果及び分析	順調に寄附金額は増えているものの、まだ目標額には届かない状況にある。掲載サイトの分析を行い、返礼品の動向調査を行っていく。							

## 重点推進項目 ② 公共施設・インフラの最適化

推進項目番号	15	推進項目	公共施設等の最適化と適正な管理（公共施設マネジメント等）					
推進項目の内容								
公共施設等の老朽化に伴い、今後、維持管理費の増大が見込まれることなどを踏まえ、施設の効率的な維持管理・更新と投資の適正化・平準化を図る。また、既存施設の効率的、効果的な運営を図るため、施設の統廃合等を検討する。								
効果	市民サービスの向上、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施	⇒	—	—	—	—
公共施設再配置計画及び、個別施設計画を策定する。		実績	実施 (作業中)	実施	見直し	見直し	見直し	
		目標値(額)	再配置策定	再配置策定 個別施設策定	—	—	—	—
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	公共施設再配置計画に基づく再配置を推進するため、公共施設マネジメント推進本部会議及び作業部会を開催し、施設の統廃合等を推進した。							
課名	学校教育課	計画	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
小学校・中学校の適正配置、統合を進める。		実績	検討	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	
		目標値(額)	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	小中学校統廃合推進計画部会を立ち上げ、弥富市小中学校未来構想を策定し、小中学校の統合の時期を示した。							
課名	生涯学習課	計画	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
十四山公民館の廃止を検討する。		実績	—	—	—	検討	実施	
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	十四山公民館統廃合推進部会を開催し、講堂を除いた施設はR5年3月31日をもって廃止した。講堂を含めた施設の廃止については、十四山東部小学校の再編跡地利用の検討とともに進める。							

取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	生涯学習課	計画	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
市民プールの廃止を検討する。	実績		廃止決定	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		—	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円
	効果値(額)		—	4,997千円	4,997千円	4,997千円	4,997千円	
取組結果及び分析	H30年度に市民プールを廃止し、R3年度に解体工事を実施した。							
課名	土木課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
一級市道、二級市道を対象に舗装修繕計画に基づき舗装の修繕を実施する。	実績		実施	実施	—	未実施	実施	
	目標値(額)		—	1路線	—	1路線	1路線	1路線
	効果値(額)		—	1路線	—	0路線	1路線	
取組結果及び分析	計画通り、1路線の舗装を修繕した。今後も計画に基づき舗装修繕することとする。							
課名	土木課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
定期点検結果において早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、橋梁個別施設計画を定めて計画的な修繕・補強を実施する。	実績		実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		2橋	1橋	1橋	2橋	4橋	2橋
	効果値(額)		—	1橋	1橋	2橋	4橋	
取組結果及び分析	計画通り4橋の補修を実施した。今後も早期に修繕が必要な橋りょうから修繕することとする。							
課名	土木課	計画	<del>検討</del>	検討	検討・実施	実施	⇒	⇒
道路照明灯について、LEDによるリース契約を行い、電気料等の削減に努める。	実績		<del>—</del>	—	—	実施	実施	
	目標値(額)		<del>—</del>	—	—	2,000千円	2,000千円	2,000千円
	効果値(額)		<del>—</del>	—	—	2,452千円	1,861千円	
取組結果及び分析	LEDのリース契約を継続することで、電気料等の削減に一定の効果があったものの、R4年度は電気料金の高騰により、効果値としては減少した。R5年度以降においても、新たに設置する道路照明灯について引き続きLEDのリース契約を行い、電気料等の削減に努める。							
課名	児童課	計画	<del>検討</del>	<del>検討</del>	<del>検討</del>	検討	⇒	⇒
市立保育所の民営化及び認定こども園化を進める。	実績		<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>	検討	検討	
	目標値(額)		<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>	調査研究	調査研究	⇒
	効果値(額)		<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>	基本方針策定	移管先法人決定	
取組結果及び分析	弥富市立保育所の移管先法人を決定した。多様化する保育ニーズに応えるため、民営化かつ認定こども園化を進める。							
課名	歴史民俗資料館	計画	検討	⇒	移転準備	移転及び開館	旧館廃止	⇒
歴史民俗資料館を図書館棟1階に複合化し、旧館を廃止する。	実績		検討	検討	移転準備実施	実施	旧館廃止	
	目標値(額)		—	—	—	372千円	2,600千円	2,600千円
	効果値(額)		—	—	—	298千円	2,598千円	
取組結果及び分析	計画通りR4年4月1日に資料館が開館、旧館の建物を11月末までに解体撤去した。							

※ 公共建築物の最適化と適正な管理（公共施設マネジメント等）については、R2年3月策定の「弥富市公共施設再配置計画」に基づき、今後変更をしていく。

重点推進項目 ③

限られた財源の効率的・効果的な活用の推進

推進項目番号	16	推進項目	行政評価制度の活用						
推進項目の内容									
施策や事務事業について、成果指標等を用いて有効性や効率性を客観的に評価し、その成果を行政運営に反映させる仕組みを構築する。									
効果	職員の意識改革、説明責任の履行、効率的・効果的な行政運営								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	企画政策課	計画	検討	⇒	⇒	実施	⇒	⇒	
事務事業評価を行政改革推進委員会において審議する。		実績	検討	検討	実施	実施	実施		
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—	
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	R4年度は行政改革推進委員会を開催しなかったが、総合計画審議会において事業評価の報告を行った。								

推進項目番号	17	推進項目	財政健全化方策の検討						
推進項目の内容									
健全財政を維持するための方策について、調査・検討を進める。									
効果	財政健全化方策の検討								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
健全化判断比率、資金不足比率をホームページ等で公表する。		実績	実施	実施	実施	実施	実施		
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—	
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき公表を行った。R3年度決算に基づき算定された比率は、全ての基準を下回っている。実質公債費比率及び将来負担比率も前年度より改善されているものの、今後予定されている大型事業により、数値は上昇すると見込まれるので、慎重な財政運営に取り組んでいく必要がある。								
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
毎年中期財政計画を改訂し、ホームページで公表する。		実績	実施	実施	実施	実施	実施		
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—	
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	5年間の財政見通しを立て、今後の予算編成に反映させることにより、計画的かつ健全な財政運営を持続可能なものとしていく。								
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
地方債借入れにおける入札を実施する。		実績	実施	実施	実施	実施	実施		
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—	
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	民間の金融機関7者による借入利率の見積もり合わせを実施した。								

推進項目番号	18	推進項目	財務4表の活用					
推進項目の内容								
企業会計手法を活用し、市の資産、負債を正しく捉えて行財政運営に反映していくために財務4表を作成・公表しているところであるが、その評価・分析を深めることで市の資産形成の特徴を把握し、効率的な資産形成がされているか検討する。								
効果	財政構造の改善、管理運営の効率化							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
国の統一モデルによる貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4表を普通会計ベース、単体会計ベース及び関係団体との連結ベースで作成し、ホームページで公表するとともに、市の資産の保有状況や減価償却の状況の把握及び公共施設のアセットマネジメントにつなげる。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	国の統一モデルによる財務4表を作成・公表した。また、資産形成度を始めとする各指標について経年比較を行い、市の資産形成の特徴・変化を把握した。							

推進項目番号	19	推進項目	工事成績評定制度の推進					
推進項目の内容								
公共工事の成果を向上させるため、工事に対する成績評定制度の導入により、工事の効率的執行と工事の技術水準の向上を図る。								
効果	請負業者の適正な選定及び指導育成							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
工事成績評定を実施する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	工事の適正かつ効率的な施工を確保し工事に関する技術水準の向上に資するとともに、受注者の適正な選定及び指導育成を図ることができた。							

**重点推進項目 ④ 特別会計などの経営健全化の推進**

推進項目番号	20	推進項目	公営企業会計の導入					
推進項目の内容								
公共下水道事業及び農業集落排水事業の長期的に安定した経営を目的として公営企業会計の導入をし、経営の健全化、計画性・透明性、効率化の向上を図る。								
効果	経営の健全化、計画性・透明性、効率化の向上							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	下水道課	計画	検討	⇒	実施	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>
公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の財務規定適用をする。	実績	検討	検討	実施	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>
	目標値(額)	—	—	—	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>
	効果値(額)	—	—	—	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>	<del>          </del>
取組結果及び分析	下水道事業の持続的で安定的な事業運営のため、R2年度より、これまでの「官庁会計（特別会計）」から地方公営企業法の財務規定を適用した、「企業会計」へ移行した。その企業的性格を活かし能率的な経営のもと、より一層経営の効率化・健全化に努めていく。							



重点推進項目

⑤

民間活力の効果的な活用

推進項目番号	21	推進項目	民間委託等の推進						
推進項目の内容									
行政の守備範囲や役割から行政にしかできないことと、民間に委ねることで効率化が図れることを見極めた上で、民間委託等を推進する。									
効果	民間活力の活用、経費の節減								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	総務課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
各選挙において、期日前投票所の投票事務の一部を民間委託する。	実績	実施	実施	—	実施	実施			
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—	
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	R4年7月10日執行の参議院議員総選挙（期日前・当日投票所）、R4年11月20日執行の弥富市長選挙（期日前投票所）、R5年2月5日執行の愛知県知事選挙（期日前・当日投票所）において、投票事務を一部民間委託した。								
課名	児童課	計画	実施	⇒	⇒	⇒			
保育所の給食において、民間調理業務委託を行う保育所を1園から6園へ拡大する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施			
	目標値(額)	—	—	—	—	—			
	効果値(額)	1園	2園	1園	1園				
取組結果及び分析	H30年度にひので保育所、R元年度に西部保育所・大藤保育所、R2年度に十四山保育所、R3年度に白鳥保育所の給食調理について、民間へ業務委託を行い、目標は達成された。また、R4年度には委託業者をプロポーサルにて選定した結果、業者変更によって委託料の縮減が図られた。今後、職員の人事配置も考慮してR10年度までに残り3園を民間委託する。								

推進項目番号	22	推進項目	指定管理者制度の活用						
推進項目の内容									
民間事業者のノウハウの活用による経費の節減、施設利用者へのサービス向上、管理運営の活性化を図るため、指定管理者制度の活用を検討する。									
効果	市民サービスの向上、管理運営の効率化、経費の節減								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	福祉課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
弥富市障がい者生きがいセンター、弥富市十四山障がい者生きがいセンターに指定管理者制度を活用する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—	
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	引き続き、弥富市社会福祉協議会による障がい者生きがいセンターの指定管理を行っていく。								
課名	介護高齢課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
弥富市デイサービスセンター、弥富市南デイサービスセンターに指定管理者制度を活用する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—	
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	継続して弥富福祉会による2施設のデイサービスセンターの指定管理を行った。								

取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	介護高齢課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
弥富市高齢者生きがいセンター、弥富市十四山高齢者生きがいセンターに指定管理者制度を活用する。	実績		実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		—	—	—	—	—	—
	効果値(額)		—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	継続してシルバー人材センターによる2施設の高齢者生きがいセンターの指定管理を行った。							
課名	介護高齢課	計画	実施	⇒	⇒	<del>⇒</del>	<del>⇒</del>	<del>⇒</del>
弥富市十四山デイサービスセンターに指定管理者制度を活用する。	実績		実施	実施	廃止	<del>⇒</del>	<del>⇒</del>	<del>⇒</del>
	目標値(額)		—	—	—	<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>
	効果値(額)		—	—	—	<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>
取組結果及び分析	R2年10月に指定管理業務依頼先であった事業者が廃業したため、廃止となった。							

**【基本方針2】市民の期待に応える市役所の能力、機能の強化**

**重点推進項目 ⑥ 職員の育成と職員力の向上**

推進項目番号	23	推進項目	職員の人材育成						
推進項目の内容									
「弥富市人材育成基本方針」に基づき、 ① 政策形成能力、行政能力の向上が図られるよう研修内容の充実を図る。 ② 愛知県へ実務研修生を派遣する。 ③ 自治大学校等の専門研修機関への派遣研修を実施する。									
効果	職員の能力開発・発揮、勤務意欲の喚起、多様な人材の育成・確保								
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
愛知県へ市町村等職員実務研修生として職員を派遣する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	目標値(額)		1人	1人	1人	1人	1人	3人	
	効果値(額)		1人	2人	2人	2人	3人		
取組結果及び分析	市町村行政部門、子ども子育て部門及び農政部門に実務研修生を派遣し、職員の能力向上が図られ、人材の育成につながった。								
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
総務省自治大学校第3部課程研修へ職員を派遣する。	実績	実施	実施	中止	実施	実施			
	目標値(額)		1人	1人	1人	1人	1人	1人	
	効果値(額)		1人	1人	—	1人	1人		
取組結果及び分析	総務省自治大学校第3部課程研修へ職員を派遣し、政策形成能力の向上が図られ、人材の育成につながった。								
課名	人事秘書課	計画	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒	
政策形成能力等の向上を目的とした内部研修を新たに実施する。	実績	検討	検討	中止	中止	実施			
	目標値(額)		—	—	—	—	—	—	
	効果値(額)		—	—	—	—	—		
取組結果及び分析	新型コロナウイルス感染症感染防止対策の一環として内部研修は中止したが、代替研修としてeラーニング研修の内容を拡充した。								
課名	企画政策課	計画	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	
若手・中堅職員を対象に、実行性のある政策形成能力を身につけるため、プロジェクトチームを結成し、活動する。	実績	検討	実施	中止	中止	中止			
	目標値(額)		—	7人	7人	7人	7人	7人	
	効果値(額)		—	14人	—	—	—		
取組結果及び分析	R4年度は過去に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、中止とした。								

## 重点推進項目

⑦

## 職員定員の適正化と組織の効率化

推進項目番号	24	推進項目	定員管理の適正化					
推進項目の内容								
組織・機構の簡素化と合理化、事務事業の民間委託、情報化による事務処理の効率化などを推進するとともに、再任用職員、臨時職員等を職務内容に応じて効果的に配置し、市民サービスの質を維持、向上させることが可能な必要最小限の職員数を見極めながら、定員の適正化に努める。								
効果	定員の適正化							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	検討	検討・実施	実施	⇒	⇒	⇒
職員数の適正化を図るため、「弥富市定員適正化計画」を策定する。	実績	検討	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	調査研究	計画策定	—	—	—	—	—
	効果値(額)	調査研究	計画策定	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	弥富市定員適正化計画に基づき、定員の適正化が図られるよう努めた。							

推進項目番号	25	推進項目	組織・機構の改革					
推進項目の内容								
効率的・効果的に業務を遂行するため、スクラップ・アンド・ビルドによる徹底した組織・機構の見直しを常に行う。								
効果	効率的・効果的な事務事業の遂行、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	企画政策課	計画	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
組織・機構の見直しを常に行う。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	副市長を中心とした執行部側と全部署において機構改革に向けた意見交換会を実施した。R5年度においても継続して見直しを実施していく。							

推進項目番号	26	推進項目	グループ制の活用による機動性の確保					
推進項目の内容								
課内業務の繁閑に応じて、グループ制の流動的活用を積極的に行う。								
効果	意思決定の迅速化、業務の円滑化、職員の能力向上							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	総務課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
各選挙において、総務課内のグループ毎に役割分担を定め、グループ制の流動的活用を行う。	実績	実施	実施	—	実施	実施	実施	
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	業務が集中する期間において、選挙事務を連携して迅速かつ的確に実施した。							

推進項目番号	27	推進項目	流動体制制度の活用					
推進項目の内容								
流動体制制度を活用し、必要最小限の職員数で行政運営の能率向上及び円滑化を図る。								
効果	人材資源の有効活用、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
安易な職員採用は行わず、繁閑に応じて部局内における臨時的な職員の流動を実施する。	実績		—	—	実施	—	—	
	目標値(額)		—	—	—	—	—	—
	効果値(額)		—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	R4年度は課内グループ間において繁閑に応じた流動的な対応を行い、部局内における臨時的な職員の流動配置は行わなかった。							

推進項目番号	28	推進項目	業務効率化、働き方改革					
推進項目の内容								
業務システムへのデータの手入力作業（単純作業）をロボットに任せることにより、業務の効率化が行われることで、事務処理時間の短縮による担当職員への負担軽減を図る。								
効果	業務の効率化および働き方改革							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	総務課	計画		検討 (予算要求)	実施 (導入)	⇒	⇒	⇒
AI-OCRとRPAを導入する。	実績			—	実施	実施	実施	
	目標値(額)			—	—	—	—	—
	効果値(額)			—	—	—	—	—
取組結果及び分析	自動化に寄与するシステムを運用し、業務の効率化を行った。							

※ AI-OCRとは、人工知能搭載のスキャナーで手書きの帳票をスキャンすることにより、テキストデータに変換することが出来る機器等である。

※ RPAとは、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作を、ソフトウェアのロボットで自動化するものである。

## 重点推進項目 ⑧ 職員の意識改革と人事評価システムの推進

推進項目番号	29	推進項目	職員提案制度・業務改善運動の実施					
推進項目の内容								
政策提案や事務改善への意見が検討され、実現に向かう仕組みを実施することにより、職員の意欲と能力が最大限に発揮できる環境づくりに努める。								
効果	行政の合理化、職員の職務意欲の向上							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	企画政策課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
業務改善運動のエントリー数の増加を図る。	実績		実施	実施	実施	中止	検討	
	目標値(額)		24件	31件	38件	44件	50件	25件
	効果値(額)		16件	21件	21件	—	—	—
取組結果及び分析	業務改善運動の提案内容が形式化されている状況があったため、新たな提案方法等について検討を行い、素案を作成した。							

推進項目番号	30	推進項目	人事評価システムの活用					
推進項目の内容								
人事評価制度を活用し、業績評価と能力・態度評価により、適切に給与や昇任等への処遇に反映させる。								
効果	職員の能力開発、職員の意識改革と士気の高揚、人材育成							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標管理制度による人事評価を実施し、昇給・昇任昇格・勤勉手当へ反映する。		実績	実施	実施	実施	実施	実施	
		目標値(額)	—	—	—	—	—	—
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	目標管理制度による人事評価を実施し、得られた評価をもとに適切に処遇に反映させることができた。							

**【基本方針3】市民と問題を共有し、課題を解決する協働の強化**

**重点推進項目 ⑨ 市民と行政の協働による地域経営の推進**

推進項目番号	31	推進項目	学区コミュニティ推進協議会組織（事務局制度）の見直し					
推進項目の内容								
学区コミュニティ推進協議会組織（事務局制度）の見直しを行う。								
効果	事務事業の合理化、経費の節減							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	市民協働課	計画	検討	⇒	⇒	⇒	実施	実施
学区コミュニティ推進協議会組織（事務局制度）の見直しを行う。		実績	—	—	—	要綱（案）作成	実施	
		目標値(額)	協議	方向性確定	準備調整	⇒	実施	実施
		効果値(額)	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	魅力ある地域づくりに繋げるため、R4年度は弥富市学区コミュニティ推進協議会事務局職員制度実施要綱を作成し、事務局職員の職務を定めた。今後も地域住民の自主的な運営及び活動体制等を支援しつつ、見直しを行っていく必要がある。							

推進項目番号	32	推進項目	市民活動支援対策の推進					
推進項目の内容								
ボランティア団体やNPO等の育成とその活動への支援を行うとともに、ネットワーク化を図り、市民参画と協働を推進する。								
効果	市民参加の推進、市民協働							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	市民協働課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
地域づくり補助金により市民活動への支援を行う。		実績	実施	実施	実施	実施	実施	
		目標値(額)	70団体	60団体	60団体	60団体	60団体	60団体
		効果値(額)	47団体	46団体	27団体	26団体	27団体	
取組結果及び分析	広報、ホームページ、YouTube配信により、制度の周知に努め、市民協働課による補助金説明会を開催し、市民活動団体の支援を推進した。また、R4年4月からまちなか交流館に、新たな市民活動を創造するスペースをプレオープンし、市民が積極的に市民活動を行える環境を整備した。							
課名	防災課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
自主防災会補助金により防災活動への支援を行う。		実績	実施	実施	実施	実施	実施	
		目標値(額)	70団体	70団体	70団体	70団体	70団体	70団体
		効果値(額)	42団体	40団体	5団体	9団体	17団体	
取組結果及び分析	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、訓練を中止した地区が多かったが、その中でも規模を縮小し、感染症対策をとりながら実施した地区もあった。							

推進項目番号	33	推進項目	各種審議会等への市民公募委員の登用推進					
推進項目の内容								
幅広い市民の意見を市政に反映していくため、各種審議会等に市民公募委員を積極的に登用するよう努める。								
効果	市民参加の推進							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
特別職報酬等審議会に市民公募委員を登用する。	実績		—	—	—	—	—	
	目標値(額)		(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
	効果値(額)		—	—	—	—	—	
取組結果及び分析	特別職報酬等審議会は、人事院勧告に基づき国家公務員の給与等が大幅に改正された後に開催されるものと考えており、近年の社会情勢では大きな変動は見られなかったため、開催しなかった。							
課名	市民協働課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
弥富市地域公共交通活性化協議会に市民公募委員を登用する。	実績		実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
	効果値(額)		2人	2人	2人	2人	2人	
取組結果及び分析	弥富市地域公共交通活性化協議会規約に基づき、市民公募委員を登用し、協議事項に対して意見をいただいた。							
課名	市民協働課	計画		実施	⇒	⇒	⇒	⇒
弥富市男女共同参画審議会に市民公募委員を登用する。	実績			実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)			1人	1人	1人	2人	2人
	効果値(額)			1人	1人	1人	2人	
取組結果及び分析	弥富市男女共同参画推進条例及び弥富市男女共同参画審議会規則に基づき審議会を設置し、委員に公募委員を登用することにより、様々な視点から意見や助言をいただいた。							

推進項目番号	34	推進項目	男女共同参画の推進					
推進項目の内容								
男女共同参画推進プランに基づき、各種審議会等への女性の登用率の拡大等に努める。								
効果	市民参加の推進							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	市民協働課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
審議会等に女性の参画がさらに図れるよう、女性委員の登用を積極的に行う。	実績		実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		25%	25%	25%	40%以上 60%以下	40%以上 60%以下	40%以上 60%以下
	効果値(額)		25.81%	24.83%	23.57%	28.40%	32.20%	
取組結果及び分析	第2次弥富市男女共同参画プラン（計画期間：R3年度～R12年度）において、審議会への女性登用の目標値の見直しを行い、弥富市審議会委員会の女性登用推進要綱を制定することで、各審議会等へ女性委員の登用を推進した。							



推進項目番号	35	推進項目	ワークショップの推進					
推進項目の内容								
市民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるよう、企画立案段階から市民が参画するワークショップ手法を取り入れることで、市民と行政の相互理解を深めるとともに、協働体制を確立するよう努める。								
効果	市民参加の推進、市民協働の推進							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	財政課	計画	実施					
公共施設マネジメントのためのワークショップを開催する。	実績	実施						
	目標値(額)	—						
	効果値(額)	—						
取組結果及び分析	H30年度に実施したワークショップの意見は公共施設再配置計画に反映されており、公共施設マネジメントの推進につなげている。							
課名	防災課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
防災のためのワークショップを開催する。	実績	実施	実施	中止	中止	実施		
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	自主防災会、市議会議員、小・中学校長、保育所長等において避難所運営についてのワークショップを開催した。							
課名	企画政策課	計画			開催	⇒	⇒	⇒
地方創生に関するワークショップを開催し、市民協働による地方創生事業を実施する。	実績				開催	開催	開催	
	目標値(額)				—	—	—	—
	効果値(額)				5回	5回	11回	
取組結果及び分析	R4年度から地方創生事業が始まり、ワークショップの開催回数が増加した。今後も相互理解を深め、事業を進めていく。							

## 重点推進項目 ⑩ 市民への情報共有と市民ニーズの把握

推進項目番号	36	推進項目	各種広報媒体を活用した市政情報の発信					
推進項目の内容								
各種広報媒体を活用して、市民にタイムリーな行政情報を届けるとともに、発信情報の充実に努める。								
効果	市民に対する説明責任の向上、市民サービスの向上、情報バリアフリーの推進							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	検討・実施	検討・実施	SNS新設	SNS新設・情報発信	情報発信	情報発信
各種広報媒体（市公式SNS）を拡充し、情報発信を充実させ、登録者数の拡充に努める。	実績	—	—	実施	実施	実施		
	目標値(額)	—	—	1,900人	2,100人	2,300人	4,500人	
	効果値(額)	—	—	2,001人	2,195人	4,205人		
取組結果及び分析	市公式LINEを開設したことにより、目標値を大きく上回る登録者数を達成できた。							

推進項目番号	37	推進項目	審議会等会議の公表					
推進項目の内容								
市民に信頼される開かれた市政運営を行っていくため、各種審議会等の会議の公表に努める。								
効果	市民参加の推進、透明性の向上							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
特別職報酬等審議会の内容をホームページで公開する。	実績	—	—	—	—	—	—	—
	目標値(額)	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)
	効果値(額)	—	—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	特別職報酬等審議会は、人事院勧告に基づき国家公務員の給与等が大幅に改正された後に開催されるものと考えており、近年の社会情勢では大きな変動は見られなかったため、開催しなかった。							
課名	都市整備課	計画	検討・実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
都市計画審議会等の内容をホームページで公開する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	—
	目標値(額)	—	—	—	—	—	—	—
	効果値(額)	2回	1回	1回	1回	1回	3回	—
取組結果及び分析	新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した上で、審議会を開催し、有識者を始めとする委員から有意義な意見を頂いた。また、弥富市都市計画審議会会議運営規程および弥富市都市計画審議会会議傍聴要綱に基づき、市民に公開する場を確保し、広報で開催の通知をした。なお、当日資料および議事録についてはホームページで公開し、市民への情報周知に努めた。							
課名	企画政策課	計画	実施	—	—	—	実施	実施
総合計画審議会の内容をホームページで公開する。	実績	実施	—	—	—	—	実施	—
	目標値(額)	4回	—	—	—	—	2回	5回
	効果値(額)	5回	—	—	—	—	3回	—
取組結果及び分析	R4年度は総合計画審議会を3回開催し、会議の資料及び議事録をホームページに公開した。今後は、より迅速に公開できるよう努める。							
課名	市民協働課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
地域公共交通活性化協議会の内容をホームページで公開する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	—
	目標値(額)	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回
	効果値(額)	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回
取組結果及び分析	弥富市地域公共交通活性化協議会会議運営規程に基づき、R4年度中に開催された地域公共交通活性化協議会の議事録をホームページに公開することにより、協議内容の透明性の向上に努めた。							
課名	市民協働課	計画	●●●●●			実施	実施	実施
男女共同参画審議会の内容をホームページで公開する。	実績	●●●●●			実施	実施	—	
	目標値(額)	●●●●●			1回	1回	1回	
	効果値(額)	●●●●●			1回	1回	—	
取組結果及び分析	第2次弥富市男女共同参画プラン（計画期間：R3年度～R12年度）における計画の推進体制に基づき、議事録をホームページに公開し、すべての人が性別にとらわれることなく、個性や能力が十分に発揮され、あらゆる分野で多様な生き方を選択できる社会の実現の推進に努めた。							

推進項目番号	38	推進項目	出前講座の充実					
推進項目の内容								
市民と行政の協働によるまちづくりを進めていくため、市民の要望に基づき、職員が地域に出向いて、市の施策や事業の内容等についてわかりやすく説明する。								
効果	市政への反映、市民参加の推進							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
市民グループ等の申込みに基づき、出前講座を実施する。	実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		780人	800人	820人	840人	850人	850人
	効果値(額)		1,347人	1,342人	451人	307人	569人	
取組結果及び分析	R4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、申込み・参加者数はコロナ禍前と比較して少なかったものの、R3年度と比較して増加した。							

推進項目番号	39	推進項目	市民満足度の把握（必要に応じた市民満足度調査、市民アンケートの実施）					
推進項目の内容								
市民ニーズを起点とした市政運営を目指して、施策の費用対効果を明示したうえで市民の意向や満足度の把握を行い、政策に反映するシステムを構築するために、マーケティング手法を導入する。また、市民とのコミュニケーションを通じて、継続的に行政活動の改革・改善を行う新たな仕組みづくりに取り組み、取組結果を随時公表することで、市民の行政に対する関心を高める。								
効果	市政への反映、市民参加の推進							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	企画政策課	計画				検討 (予算要求)	アンケート 実施	—
総合計画に関連した市民満足度を把握する。 (市民満足度調査の実施)	実績					検討 (予算要求)	アンケート 実施	
	目標値(額)					—	—	—
	効果値(額)					—	—	
取組結果及び分析	R4年度は第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定にあたり市民アンケートを実施し、各種施策に対する市民満足度を把握した。その結果を計画づくりに活かし、各種施策の市民満足度を高められるよう努める。							
課名	企画政策課	計画		検討 (予算要求)	アンケート 実施	検討 (予算要求)	アンケート 実施	—
次代を担う若者世代や子育て世代の「結婚」「出産」「子育て」「しごと」に対する意識や希望、課題などを把握する。(市民意向調査の実施)	実績			実施	実施	検討 (予算要求)	アンケート 実施	
	目標値(額)			—	—	—	—	—
	効果値(額)			—	—	—	—	
取組結果及び分析	R4年度は第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定にあたり市民アンケートを実施し、若者世代や子育て世代の意見を把握した。その結果を計画づくりに活かし、若者世代や子育て世代の希望を叶えられるよう努める。							
課名	市民協働課	計画		検討 (予算要求)	アンケート 実施	—	—	—
男女共同参画の推進を図るため、市民の皆さまの考えや実態などを把握する(市民意識調査の実施)	実績			実施	実施	—	—	
	目標値(額)			—	—	—	—	—
	効果値(額)			—	—	—	—	
取組結果及び分析	第2次弥富市男女共同参画プラン(計画期間：R3年度～R12年度)見直し時期(R7年度)にて実施する予定である。							

重点推進項目 ⑪

市民の視点に立ったサービスの向上

推進項目番号	40	推進項目	電子申請サービスの推進					
推進項目の内容								
市のホームページを通じて、各種申請書が入手できるサービスを提供するとともに、インターネット上で申請手続きができるサービスを推進する。								
効果	市民サービスの向上、ITの推進、事務の効率化							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	総務課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
あいち電子申請届出システムにより、住民票の写しの交付請求等のサービスを実施する。	実績	実績	実施	実施	実施	実施	実施	
	目標値(額)		—	—	—	—	—	—
	効果値(額)		0件	2件	9件	7件	10件	
取組結果及び分析	あいち電子申請届出システムによる戸籍附票の写し交付請求等のサービスを実施した。							

推進項目番号	41	推進項目	市民の視点に立った窓口サービスの向上・充実					
推進項目の内容								
組織と個人が共通の方向性を持ち、説明責任の意識を持って対応し、市民の立場に立った利用しやすい市役所づくりを目指す。								
効果	職員の資質向上、市民サービスの向上							
取組項目			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
課名	人事秘書課	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
新規採用職員を対象に「接遇研修」を実施する。	実績	実績	実施	実施	中止	実施	実施	
	目標値(額)		—	—	—	—	—	—
	効果値(額)		—	—	—	—	—	—
取組結果及び分析	R3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施したうえで「接遇研修」を実施し、職員の資質向上を図り、市民サービスの向上につなげることができた。							

## 6 実施計画の取組みによる経費節減等の財政効果

### 取組項目別及び年度別効果額

取組の結果、各年度の歳入の増加額又は歳出の削減額を取組前と比較して示します。効果が継続する取組については、効果が継続する期間中は、毎年度、効果額が発生するものとしています(参考として事業廃止以降も継続して発生する効果を除いた各年度の取組効果額を表示しています。)

番号	推進項目	効果額 (単位:千円)												
		H30年度 (2018年度)		R元年度 (2019年度)		R2年度 (2020年度)		R3年度 (2021年度)		R4年度 (2022年度)		R5年度 (2023年度)		
		目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	
歳入の増加		84,604	<b>60,468</b>	74,892	<b>53,146</b>	33,589	<b>35,931</b>	34,098	<b>46,501</b>	33,798	<b>45,188</b>	34,312		
1	公有財産の有効活用	歳入	6,652	<b>6,487</b>	6,652	<b>6,764</b>	6,652	<b>8,498</b>	6,779	<b>15,594</b>	6,779	<b>10,141</b>	6,779	
2	有料広告収入の確保	歳入	766	<b>656</b>	766	<b>406</b>	1,517	<b>930</b>	1,899	<b>1,775</b>	1,599	<b>1,638</b>	2,113	
12	未収金対策の充実・促進	歳入	43,900	<b>24,323</b>	46,740	<b>21,933</b>	---	---	---	---	---	---	---	
13	使用料・手数料の見直し	歳入	33,286	<b>29,002</b>	20,734	<b>24,043</b>	15,420	<b>22,875</b>	15,420	<b>22,924</b>	15,420	<b>25,407</b>	15,420	
14	多数な財源確保策の実施	歳入	---	---	---	---	10,000	<b>3,628</b>	10,000	<b>6,208</b>	10,000	<b>8,002</b>	10,000	
歳出の削減			△ 1,800	<b>△ 3,392</b>	△ 10,000	<b>△ 7,851</b>	△ 11,308	<b>△ 7,639</b>	△ 14,587	<b>△ 9,381</b>	△ 16,615	<b>△ 4,842</b>	△ 16,722	
5	委託業務の見直し	歳出	---	---	---	---	△ 508	<b>△ 475</b>	△ 1,115	<b>△ 1,065</b>	△ 1,115	<b>△ 1,044</b>	△ 1,022	
7	パソコン等のリース期間の延長	歳出	△ 800	<b>△ 2,200</b>	△ 3,000	<b>△ 1,400</b>	△ 100	<b>△ 585</b>	△ 400	<b>△ 700</b>	△ 200	---	△ 400	
9	物品調達の効率化	歳出	△ 1,000	<b>△ 1,192</b>	△ 1,000	<b>△ 1,454</b>	△ 1,000	<b>△ 1,582</b>	△ 1,000	<b>△ 1,735</b>	△ 1,000	<b>△ 1,989</b>	△ 1,000	
10	時間外勤務の縮減	歳出	---	---	---	---	△ 3,700	---	△ 3,700	<b>1,866</b>	△ 3,700	<b>7,647</b>	△ 3,700	
15	公共施設等の最適化と適正な管理(公共施設マネジメント等)	歳出	---	---	△ 6,000	<b>△ 4,997</b>	△ 6,000	<b>△ 4,997</b>	△ 8,372	<b>△ 7,747</b>	△ 10,600	<b>△ 9,456</b>	△ 10,600	
合計		歳入	84,604	<b>60,468</b>	74,892	<b>53,146</b>	33,589	<b>35,931</b>	34,098	<b>46,501</b>	33,798	<b>45,188</b>	34,312	
		歳出	△ 1,800	<b>△ 3,392</b>	△ 10,000	<b>△ 7,851</b>	△ 11,308	<b>△ 7,639</b>	△ 14,587	<b>△ 9,381</b>	△ 16,615	<b>△ 4,842</b>	△ 16,722	
		計	86,404	<b>63,860</b>	84,892	<b>60,997</b>	44,897	<b>43,570</b>	48,685	<b>55,882</b>	50,413	<b>50,030</b>	51,034	

- ・上記に示す、目標効果額については、各年度当初に見直しを行う為に変動しています。
- ・効果額が生じない場合や発生しなかった年度については、「 --- 」で表示しています。